

土器を

焼きました

11月8日(金), 総合的な学習の時間に土器を焼きました。

広島県立三次歴史民俗資料館で, 働いておられる田邊学芸員さん, 稲村学芸員さんが, 指導してくださいました。

「わらと薪木」を利用して, 弥生時代に行われていた焼き方を再現しました。



わらを下に敷いて, 薪木を並べ, その上に土器を置きました。



さらにわらをかぶせ, 畑の土で覆いました。



わらに火をつけ，風を送りました。	3時間後，中を開けると，土器が見えてきました。
	
これで弥生式風土器の完成です。	熱いので1時間，冷やしました。

児童たちは，焼くことで割れるのではないかと，不安がっていましたが，焼き上がりに大変満足している様子でした。

「家の中に飾る。」「置物にする。」と，今後の活用方法を話していました。

弥生時代の焼き方を再現し，「先人の苦労と知恵」を少しばかり学ぶことができました。